

第136号

こんにちは

みささ議会です

令和6（2024）年

1月号



主な内容

- 町長・議長 新春対談 2～3
- 議会構成 新体制に 4～5
- 常任委員会で慎重審査 6
- 議員6人が一般質問 7～13
- 大好きみささ町・議案の賛否 14

一年生になったら
(竹田保育園)

令和6年 町長・議長新春対談

まちづくりにチャレンジの年に



吉田道明議長

松浦弘幸町長

令和5年を振り返って

〔司会〕 新年おめでとうございます。松浦町長は2期目の後半を迎えられ、吉田議長も昨年議長に再任され新しいスタートとなりました。はじめに令和5年を振り返ってそれぞれの感想を伺います。

〔町長〕 コロナが5類に移行して地域活動やイベント等も通常に戻りつつある中、台風7号の災害では大きな被害を受けました。こうした中、町政70周年記念式典では多くの関係者の参加のもと盛大に開催しお祝いできたことは喜ばしいことだったと感じています。

〔議長〕 やはり昨年8月の台風7号の被害は大きく復旧が急がれます。一方、私が議長就任当初から活動してきた本町を含む中部環状

線道路の建設に向けて、中部の首長や議員にも応援してもらい少しずつ動き始めたことは有難いことだと思っています。

今年、重点的に取り組んでいきたいことは

〔司会〕 松浦町政として今年、重点的に取り組んでいかれたいことを伺います。

〔町長〕 一つ目は、昨年度から取り組みを進めている「温泉を活用した健康まちづくり事業」について、春には基本計画の策定を予定しているので具体化していきます。特に健康プログラムでは町内の医療機関と連携して体力づくりを進め特徴ある施設も作っていききたいと思います。

二つ目は、小学校新校舎が秋には完成する予定です。これに併せて将来を見据えて小中連携体制の充実や野球場を中心としたスポーツ運動施設の整備を含めた教育環境の充実を進めていきます。

三つ目は、日本遺産の継続審査の評価結果が今年に出されることになっており、継続して認定されるよう努力していきます。また、観光面においても三朝温泉の活性化に繋がるよう国内だけでなくインバウンド誘客にも力を入れていき日本遺産の町として観光振興の基軸になるよう町の活性化を図ります。

四つ目は、昨年の台風7号災害の復旧に全力で取り組んでいきます。まずは生活・農業基盤を優先していきますが最終完了には4年間くらいかかる見込みです。



令和5年台風7号による被害



五つ目は、町総合計画の後期計画のスタートの年になります。前期の評価を踏まえ新たな展開も含めまちづくりにチャレンジしていきたいと思っています。

災害に強い町をつくっていくには

〔司会〕 昨年の台風7号災害で大きな被害を受けました。今後の災害対策の取り組みで何かありますか。

〔町長〕 復旧に向けて全力で取り組んでいきますが、ハザードマップの想定を超えた雨量が今後も続くことも考えられ、特に砂防対策にこれまで以上に力を入れてもらうよう国に要望していく必要があると考えています。

〔議長〕 災害復旧を進めるにあたり行政だけに頼るのではなく町民が協力しながら一丸となって復旧に取り組むことが重要と考えます。さらに災害に強い町づくりを進めていくためには町の力だけでは限界があります。復旧の際、現状をさらにレベルアップできる工事を可能にしたり、工事単価を上げることで事業者を確保できるようにするなど国政レベルで考えていく必要があると思います。

温泉を活用した健康まちづくり事業の取り組み

〔司会〕 事業の中で観光面に活かしていく取り組みはありますか。

〔町長〕 事業では温泉と健康をテーマにソフト・ハード両面で進めていきます。町民の利用はもちろんですが、観光面では地方体験型のニーズが高くなっており、例えば日本遺産の六感治癒と温泉を活用した観光商品への活用なども考えられます。三朝温泉で若い家族から高齢者までゆっくり過ごせる環境づくりの一環として事業に取り組んでいきたいと思っています。

〔議長〕 以前、北陸方面の視察に行った町では、観光客を対象に食事や身体検査をプログラムに組み入れた健康モニターツアーをしていま

した。我が町でも温泉と絡ませて考えてみても面白いと思います。

今年の抱負

〔司会〕 令和6年の松浦町長、吉田議長のそれぞれの抱負や思いを伺います。

〔町長〕 コロナ禍で3年間ほど様々な活動が制限されてきましたが、今年からは積極的に政策を展開していく年にしていきたいと思っています。町民の皆さんとともに取り組みを進めていきます。

〔議長〕 昨年、議会改革調査特別委員会を立ち上げました。ここでは特に議員定数について協議し、今年中には結論を出したいと考えています。また議員報酬については中部の報酬審議会で協議されますが、若い方でも立候補できるように報酬アップを考えてもらいたいと思います。今後も町民の皆さんの声を議会に反映できるよう努めていきます。

〔司会〕

議会広報常任委員会
小椋泰志委員長



議会構成 新体制に

令和5年11月17日に臨時会が招集され、議長に吉田道明議員、副議長に藤井克孝議員が選任されました。また、任期満了に伴う議会運営委員会と各常任委員会の選任も行われ、次のとおり新しい構成になりました。



災害復興と 議会改革

吉田 道明 議長

11月17日に再任し、2年前とは違った重責を感じております。昨年8月に発生した数百年に一度と思われる記録的な豪雨は我が町に深刻な被害をもたらしました。災害からの完全復興には5、6年は必要と思われますが、町、議会、町民の皆様が総力を上げ、協力していく必要があります。そして、三朝町を水害に強い町へ作り上げていくことが今後の課題と考えています。

次に、全国的に町村議会議員報酬の見直しが行われていますが、県内では既に智頭町が報酬を5万円上げる条例改正を行っており、その他東部3町も同レベルで現在協議を行っています。我が町も若い方に議員となっていただけるよう早急に協議が必要だと思っております。



安心して生活できる 町作りを目指して

藤井 克孝 副議長

町民の皆様には、日頃よりご理解、ご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。この度、副議長という大役を命ぜられ、光栄に感じるとともに大きな責務を感じているところであります。

昨年の台風7号では町内各地の道路や農地に甚大な損壊をもたらし、現在復旧工事が行われています。また、ロシア・ウクライナの戦争の長期化等により、物価の高騰化が続き、今後益々生活が厳しくなることが懸念されます。微力ではありますが、課された責務を全うし安心して暮らせる町作り、町発展のために邁進してまいります。それには行政だけでなく、皆様の団結力が重要となります。今後なお一層のご協力、ご意見、ご支援をお願いいたします。

議会運営委員会

分かりやすく町民の声が届く議会運営に



松原 成利 委員長

これから2年間の議会運営について、私たち5名の委員が担当し、円滑な議会運営や議員の役割などを中心に協議していきます。

町民生活に直接関わりがない委員会ですが、町民の皆様には議会全般に大いに興味を持っていただき、大勢の傍聴者やご意見などがお聞きできれば有難いです。

今まで以上に分かりやすい議会と皆様の声が届く議会の運営を目指し、委員一同取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



遠藤勝太郎委員、能見貞明委員、藤井克孝委員
松原成利委員長、石田恭二副委員長

総務教育常任委員会

町民の付託に答える

遠藤 勝太郎 委員長



この度の議会構成再編により委員長に就任させていただきました。

これに伴い、総務教育常任委員会の所管が変わり、会計課、総務課、財政課、企画健康課、町民課（子育て支援関係を除く。）及び教育委員会に関する事項並びに他の委員会に属しない事項となりました。

所管の問題点を精査し、町民の付託に答えられる様、委員一丸となって積極的に取組んでまいります。

皆様からの御意見、御指導をいただきますようお願い申し上げます。



小椋泰志委員、山口博委員、藤井克孝委員、松原成利委員
遠藤勝太郎委員長、森貴美子副委員長

産業民生常任委員会

殺身成仁

能見 貞明 委員長



11月に議会の改変があり、産業民生常任委員会委員長に推薦されました。

産業民生常任委員会は農林課、農業委員会、観光交流課、町民課（子育て支援関係）、建設水道課、福祉課を所管しています。

昨年の8月の台風7号では三朝町も甚大な被害を受けました。農地、農業用施設、道路等が一刻も早く復旧するために議会としても努力してまいります。

また、観光面では、コロナが昨年5月に5類となり、インバウンド等で三朝が賑わいを取り戻してきております。町民の皆様に納得していただけるような取り組みをしてまいりますのでご協力の程よろしくお願いします。



河村明浩委員、松原茂隆委員、吉田道明委員、石田恭二委員
能見貞明委員長、吉村美穂子副委員長

議会広報常任委員会

活動が見える議会を目指して

小椋 泰志 委員長



引き続き委員長を務めさせていただくことになりました。広報委員の顔ぶれもほぼ以前と同じメンバーになり、これまでの経験を生かしてさらに親しみやすくわかりやすい広報誌の作成に努めていきます。一般質問をはじめ常任委員会や議案に対する質疑など議会活動の様子を伝えるとともに、年2回の「議会懇談会」でも意見交換を行いながら町民の皆さんの声をできるだけ議会に反映させていきたいと思ひます。

「活動が見える議会」を目指して委員一同努力してまいります。よろしくお願いします。



吉村美穂子委員、藤井克孝委員、森貴美子委員
小椋泰志委員長、河村明浩副委員長

総務教育常任委員会

防災無線アプリの導入について

問 スマートフォンアプリを用いた無線放送の事業内容は。

答 役場に専用機器を設置し、携帯電話の電波を使い、放送を送信する。その放送をスマートフォンのアプリでも聞く事が出来る様にするもの。

問 いつ頃から運用されるのか。

答 1月中に出来るよう手配したい。高齢者や使い方がわからない方には、地区単位で学習会、説明会を実施したい。

第11次三朝町総合計画 前期検証結果

問 前期総合計画の達成状況の評価や総合検証は誰がしたのか。

答 目標数値等の確認と合わせて各担当課でまとめている。

温泉を活用した健康まちづくりについて

問 現在の進捗状況はどうなっているのか。

答 基本計画についての委員会は、現在3回行い、直近では11月にしており、順調に進んでいる。

電子申請サービスの開始について

問 スマートフォン等で住民票等の証明書の交付申請が出来る電子申請サービスが受けられるとのことだが、利用手数料は窓口と同じなのか。

答 証明書の発行手数料は同じだが、郵送料等がかかる。

防災研修について

問 全町に消火栓は設置してあるが、消防団がなく消防車の到着も遅い奥部での使い方の訓練が必要。地区団や町が適切な指導を考えてほしい。

答 消防団と連携して一つでも多く実施出来るよう努めたい。



消防団との防災訓練（天神区）

産業民生常任委員会

竹田保育園閉園に伴う バス運行の通園支援

問 園児が登園する時間は同じでも、帰る時間が違う場合はどのようにするのか。

答 今の保護者には、朝夕1便ずつのバスという形で説明し、利用の希望を聞いている。



閉園する竹田保育園

問 未満児はバスに乗れないが保護者が送るのか。

答 保護者の送迎で了承いただき、

距離に応じた補助を予定している。

グリーンサービス 機械導入支援事業

問 ロールベイラー、アーム式草刈機の導入からラッピングマシーンに変更したのはなぜか。

答 今使われているラッピングマシンは借上げである。飼料作物の対応充実のため、自社機械で作業したい。



ラッピングマシーン

水道給水料金の超過料金 改定

問 料金を上げる理由は。

答 水道事業会計は毎年赤字で、三朝町は中部でも料金が安く、5期15年をかけ中部平均まで引き上げたい。平均まで上げても独立採算は難しいと思う。

三朝温泉温泉広場周辺の 開発構想

問 区としてたまわりの湯の再開を求める要望書を2回提出したが、返答が遅い。もう少し早く計画の説明をすべきではないか。

答 要望書には担当課長等が区長に口頭で説明している。改めて11月28日付けで書面回答し、11月30日には地元説明会を開催した。

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質 問 事 項	質問議員
8	1 冬季の住民生活を支える備えについて	松原 成利
9	1 指定管理者制度について	吉村美穂子
10	1 第11次三朝町総合計画の進捗と今後の取組みについて 2 災害からの復旧と特産品開発で荒廃農地の抑制を	小椋 泰志
11	1 三朝町の観光資源活用について	石田 恭二
12	1 バイオリンに触れ合う環境作りを	森 貴美子
13	1 温泉広場周辺地域の開発構想について	山口 博

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

問 冬季の住民生活を支える備えについて

答 町民皆様のご協力ご準備が不可欠

大雪の備えは例年以上に周知を

松原

この冬は湿った大雪が予想されているが、早期に重点項目を整理し、対応を含めてお知らせすることで行政だけでなく町民の皆様の協力をお願いするべき。

町長

天気予報の精度が上がり、事前の備えが可能になったが、町民の皆様のご協力ご準備が不可欠であり、引き続き防災無線や広報誌等でお知らせしたい。



準備が整った除雪車両

除雪計画や対応方針もお知らせを

松原

それぞれの地域の除雪を県や町のどこが担当するのか、対応方針や優先順等もお知らせしておくべき。

町長

国道・県道は県による除雪だが、町道は町が積雪量によって判断し、職員16名で除雪トラック3台、ドーザー3台、ロータリー1台で対応しているが、今年は民間事業

者さんの協力を得て除雪ドーザーの対応強化に取り組むことにした。

食料品・生活物資の事前準備の促し

松原

大雪が予想される場合には、食料品・生活物資の事前準備を促し、困ったときの相談先を明確にお知らせしておくべき。

町長

事前準備をしていただける体制の啓発は全戸配布しているハザードマップや、集落での防災学習、支え愛マップ作成時に繰り返しお伝えしているが町報やチラシでも対応したい。

見守り協力者に依頼や再確認を

松原

民生委員をはじめとする地域での見守り等の協力者には、改めて依頼や確認を行い、協力体制を再確認しておく必要がある。

町長

今年1月の大雪には消防団が高齢者宅の見回りを実施したが、区長さんや民生委員の方々との連携について、改めてそれぞれの関係機関に周知を図りたい。



松原 成利 議員

もしもの時の連絡先の周知を

松原

万が一の場合や心配事が発生した場合の受付先や連絡先等をお知らせしておくことも重要。

町長

まずは役場に連絡していただくことだが、ハザードマップには担当先を記載し防災無線でもお知らせしており、関係機関との事前確認と連絡体制等の危機管理強化を図っている。高齢者世帯へは個別避難計画の作成も有効であり継続して進めたい。

松原

どこにどういった方がおられるか把握しての声掛けが必要ではないか。

町長

透析をされている患者さん等は事前に把握しているが、危ぶまれるときは前もって通院をお願いしたい。緊急事態にはこれまでも優先的な除雪も行ってきている。

指定管理

問 指定管理者制度の本町の考えは

答 民間と行政の役割を分担し有効に活用する

指定管理者制度の導入の成果と課題

吉村

指定管理者制度導入から20年が経ち、成果と課題をお聞きしたい。

町長

民間事業のノウハウやアイデアを活かし、サービスの向上や経費の節減により、効果的、効率的な管理運営が成されている。課題が生じた場合は、お互いに協議しながら進めている。

指定管理施設の評価を町民に公表してはどうか

吉村

賀茂保育園は、評価を細かくモニタリングをしてホームページや園への掲示などで公表しているが、他の施設の評価と公表はどのようになされているのか。

町長

事業者と担当課で協議しながら担当課が評価している。町としての公表はしていない。評価の公表は重要で、他の自治体の状況などを参考にしながら検討する。



評価優良 A の賀茂保育園

吉村

指定管理施設の評価に当たり、外部有識者などによる評価委員会を設置し、評価してもらうのはどうか。

町長

施設ごとに外部に評価してもらった方がいい場合は考えていくが、施設を理解し、色んな経験を持つ人が行う事が望ましいと考える。

指定管理施設の調査はどのようにしているのか

吉村

施設の保全、清掃、安全対策、職員の配置などの現地調査はしているのか。以前、健康むらのトイレが汚れているとの町民の声があったが。

町長

評価を前提としての調査ではなく、各担当課が、月1回くらい訪問し、情報交換をしたり、課題を聞いている。

健康むらのトイレの件は対応した。行き届いていない所は、随時指示し、確認していくようにする。



吉村美穂子 議員



三朝温泉多目的駐車場

これからの指定管理施設への考えは

吉村

町民との共有財産である指定管理施設なので、さらに民間の活力をいただき、住民と利用者に親んでもらえるような指定管理施設になればと思うが、町長の考えをお聞きしたい。

町長

行政で行う施設の管理には限界があるので、地域の事業者や、民間の方と一緒に、施設の活用と運営に携わっていただきたいと思います。

問 第11次三朝町総合計画の進捗状況は

答 前期計画の検証を踏まえて計画内容を磨き上げていく

前期基本計画の進捗状況と印象に残っている事業は

小 小 小

前期基本計画（2019年～2023年）の進捗状況と5年間の期間中で印象に残っている事業は何か。

町長

新型コロナウイルス感染症の拡大で大きく影響を受けたが、平均点くらいは達成できたと思っている。印象に残っているのは就任当初からの課題であった学校統合と校舎建設が実行に向かっていること。また、サンサンバスの導入ができたこと等である。

新たな後期基本計画で人口減少対策と地域の活性化を

小 小 小

令和6年度からスタートする後期基本計画では、人口減少対策と地域の活性化対策を重点的に取り組んでいく必要があるのではないかと。

町長

まずは、前期基本計画からの継続として温泉を活用した健康のまちづくりを進めていきたい。また、地域の今の活動の仕組み、あり方、共助の体制づくりをはじめ、社会を支える仕組みとして子育てや高齢者の対策など、どういう形で支



小 小 小 議員

えていけばいいのか大きな課題であり、後期基本計画の中でも何らかの表現で掲げていく必要があると考えている。



建設が進む小学校校舎

問 災害復旧への支援と特産品開発で荒廃農地の抑制を

答 関係機関と連携して農家と共に取組んでいく

台風7号災害の復旧支援を全力で

小 小 小

災害で深刻な被害を受けた農業関係施設の状況と対応方針は。農業経営の継続のためにもしっかりした支援策が必要ではないか。

町長

激甚災害に指定されたように被害件数も被害額も大きい。用水の確保を最優先に緊急性のあるものから復旧していきたい。また、国・県・町の制度を活用しながら可能な限り地元負担の軽減に努めている。

小 小 小

財政的な課題もあると思うが、災害担当部署の体制も含めて住民に寄り添ったものにしてもらいたい。

特産品開発で荒廃農地の抑制を

小 小 小

将来的に水路の維持管理が困難になりつつある中、中長期計画に基づき米に代わる新たな特産品開発で荒廃農地の抑制を図るべきでは。

町長

三朝神倉大豆の普及推進やブロッコリーの実証実験など進めている。特産品づくりは栽培の継続、販路の開拓など試行錯誤の連続だが、町再生協議会でも継続して協議するとともにJAや農家の皆さんと共に努力していきたい。



特産の三朝神倉大豆

問 三朝町の観光資源活用

答 町の魅力の一つとして資源を活用したい

観光資源が有効的に活用されているか

石田

住民と企業が共存できるよう全体的な地域環境整備を考えるべき。観光資源を有効活用すれば、町が活性化し認知度も高まり、移住定住促進に繋がると思うが。

町長

住民と企業との関係は重要だが、町は地域全体のメリットを勘案して関係性の構築を図り、共存出来るように努める。関係人口を増やし、住みたい、住み続けたい町に選ばれる魅力の一つとして資源を活用したい。

キュリー広場

石田

観光客が興味を持つような工夫が必要では。キュリー広場ステージなどを目で楽しめる景観に。

町長

地味な印象のあるステージは凱旋門をイメージしたもの。どのような広場なら親しみやすいか意見を求めたり、考える場があっても良いかとは思っている。



キュリー広場ステージ

健康むら

石田

子ども達の遊ぶ遊具や場所が無いと言われているが。

町長

若い方から意見を頂戴している。健康むらは日が当たらない為、子供公園に向いていないと言われている。日が当たる時間帯で使えるようなコンパクトでもそういう場所があってもいいと思うので、整理をしていきたい。

町所有美術品

石田

町民及び観光客が美術品を見る機会を増やしては。

町長

美術品は取り扱うだけでも専門性が必要なので、開館する県立美術館で展示・管理できないか検討していただいている。

温泉広場と陣所の館

石田

町から温泉広場売却の計画案が提示されたが、計画案が出来た経過を時系列に沿って説明を。

町長

事業者から温泉広場裏側に旅館を建てたいと相談があったが、河川と隣接しているので、護岸と町道の関係をまず調整してきた。護岸整備をすると、河川の勾配により旧旅館の跡地が潰れてしまうので、もう少し護岸を広げ、最終的



石田 恭二 議員

.....
に温泉広場の方まで含めた範囲で整備したいという提案が10月に町にあって、議会に説明させていただいたところ。

石田

国指定の無形文化財陣所を唯一展示出来る建物を解体し、その周辺を町として取得していくと言われたが、一体何をするのか。

町長

関係団体には陣所の館の活用方法の構想をお願いしていたが、方向性を出していただけない状況が長く続いている。老朽化により工作物が落ちてくる危険性もあり、使わないのであれば、解体しないといけなかった為、説明をした。今後については、継続して意見を求めたい。

三徳山

石田

文化財に配慮はしつつも、生活だけでなく、緊急時に緊急車輛等が三佛寺に乗り入れができるよう車道の整備が必要では。

町長

色々な案をだいぶ悩んで協議をしてきている。改善策は言えないが、解決しようとは思っているのでご理解をいただきたい。

問 バイオリンに触れ合う環境作りを

答 学校運営協議会で熟議していただく

素晴らしいキュリー祭式典

森

8月に開催されたキュリー祭の式典。最初から最後まで厳かに執り行われ、見ていて誇らしい気持ちになったが、後ろの席は空席が目立った。来年は多くの町民の皆さんにお越しいただける様に式典の在り方を検討してはどうか。

夏休み期間だが、子ども達も参加することでキュリー祭の式典やバイオリンの演奏を身近に感じるよい機会になるのではないかな。

町長

多くの町民の皆さんが参加していただける様に周知に努め、改善できる部分は対応していきたい。

式典には、バイオリン美術館の演奏をアトラクションとしており、式典を彩るに相応しく、美術館の認知向上につながるような演奏をお願いしている。音楽に触れ合う機会ができるという事は町の児童生徒にとっても貴重な機会だと考えている。学校とも相談していきたい。

観光資源としての役割

森

バイオリン美術館は、日本国内でも三朝町にしかない施設。もっと活用することで三朝町を広くアピール出来るのではないかな。

町長

文化活動の拠点の他に、三朝町の誘客・町歩きの拠点としても温泉街の一翼を担う施設である。学校の卒業式や三徳山での演奏といった新しい企画で認知向上に取り組んでいる。情報発信においても、旅館や事業所と連携して周遊促進を図るなど様々な形の取り組みを展開していただいている。

子ども達にバイオリンに触れ合う体験を

森

小学校の音楽の授業やクラブ活動、学童クラブに取り入れてみるのはどうか。町内でバイオリンを演奏出来る方々と交流の場を持つ事も地域で子どもを育てる良い機会になるのでは。

教育長

音楽の授業に関わる事は、教育課程に関する事で、校長が定めて教育委員会に届け出る事になっている。提案については学校運営協議会で熟議していく内容だと考えている。美術館、学校、保育園がともによりよい関係を保ち、伸びゆくよう皆さんと応援したい。



癒しの空間（鳥取ヴァイオリン製作学校）



森 貴美子 議員

健康づくりの視点からバイオリンを活用する

森

社会福祉協議会主催の講演会で、健康寿命を延ばすには社会性が最も大切であり、コミュニティで人とのつながりを持つ事を国が重要視しているとお話を伺った。

高齢者の健康づくりの視点からバイオリンを使ったサロンやコミュニティを作るのはどうか。定期的に開くことで地域に根差しやすくなると思うが。

町長

福祉の担当等と調整を取らせて、少しずつでもできたらと思う。

森

美術館はいろんなイベントを開催しているが、町民の参加者は比較的少ないと聞いた。美術館がもっと身近に感じられる取り組みを期待しているのだが。

町長

毎月町報で流している情報を活用していただきたい。町民の評価から観光客等にもつながることもある。美術館の皆さんとも連携を取って協力をお願いしたい。

開発

問 温泉広場売却による周辺開発計画は町にメリットがあるのか

答 民間業者の事業化により護岸整備、景観修景を期待

今回の温泉広場売却計画は本末転倒では

山口

これまでの開発計画の説明は護岸整備が中心だった。温泉広場の全面売却の話は10月30日の全員協議会の席だった。民間業者が周辺土地を買収していることは周知の事実であり、その後において接続する町有の温泉広場を売ってくれというのは本末転倒ではないか。

町長

これまで3回にわたって全員協議会で経過報告をしてきた。この度、民間業者の事業構想の全体像を示せるとの報告があり、構想の中に温泉広場を含む町有地を希望されたことから、10月30日の全員協議会の中で温泉広場を含む町有地を売却する方向で調整したいと報告した。



護岸改修予定地

温泉広場売却で町にどのようなメリットがあるのか

山口

今回の売却計画で町にどのようなメリットがあるのか。

町長

民間業者の提案、事業化により護岸整備が進行することは、町、地域住民にとって非常に有益と思う。

温泉広場周辺地域の開発には町が主体性を持って取り組み

山口

民間業者に温泉広場周辺地域の開発を完全に任せるのではなく、町が意見や注文が言える主体性を持つべきだ。

町長

民間業者がどのような計画を持っているのか分からない状態では、売却の必要性が理解できないと思う。今回、開発構想の範囲が示されたので、今後は土地の使い方、建物の規模等が説明されると思う。それを受けて皆さんと議論していただくのが良い。

温泉広場や駐車場の代替案の提案が必要だ

山口

今回の売却計画においては、温泉広場や駐車場の代替案を示すべきだ。

町長

駐車場がなくなるなどの問題は、区や観光団体からも聞いているので、対策は当然考えていく必要があり、そのような課題は拾い上げている。



山口 博 議員

温泉広場の全面売却でなく分割も考えては

山口

開発計画においては、民間にお願いしなければならない部分と町が頑張らなければならない面もあるので、全面売却ではなく必要な部分は分割してでも残すという考え方は無かったのか。

町長

この点については、皆さまにまた議論していただくのが良いのではないかと。



温泉広場

素晴らしい業績を上げた松浦町政に慎重な対応を期待

山口

松浦町政はこの5年間、小学校統合、サンサンバス事業など、素晴らしい実績を上げた。最後に変なことがないよう慎重な対応を期待する。

みささ町かがやく子どもフェスティバルをふり返って

僕は、12月10日に開催された、「みささ町かがやく子どもフェスティバル」にボランティアとして参加しました。僕は、その体験をふり返り、工夫したことや学んだことをみなさんへお伝えします。

今回、初めてボランティアに参加したきっかけは、友だちからの「いい経験になるから」という誘いの言葉でした。僕は、その言葉を聞き、町のために何かやってみることも確かにいい経験になるなと思いました。しかし、参加することに、少し不安もありましたが、事前のボランティア説明会で友だちと同じ「アナログゲームコーナー」の担当と分り、ほっとしました。

フェスティバル当日は、人がいっぱいでした。しかし最初、「アナログゲームコーナー」に参加する人は少なかったです。1つ目の仕事として、どうすれば、コーナーに人が集まるかを考えました。そして、自分の特技である大きな声を出して、客寄せをすればよいという案が思い浮かびました。初めは恥ずかしさもありましたが、勇気を出して「アナログゲームおもしろいですよー！ぜひ来てくださーい！」と

声を出してみました。すると思い通りの効果があり、アナログゲームにくる人が増えてきました。僕は、心の中で大成功だと喜びました。そして、この行動は担当の方からもほめていただきました。また、アナログゲームコーナーには、いろいろな年齢の人が来られました。そのことにより、年齢のちがう方と交流できたことも僕にとって、よい経験になりました。

ボランティアの経験をふり返ると、「1つの工夫の大切さ」「恥ずかしさは少しのこと」「相手の年齢によって言葉かけなどを変えること」などを学ぶことができました。そして、これからの生活でも、ボランティアに参加することで、少しでも人の役に立てればよいなと思いました。今年、今度は僕が友だちを誘ってボランティアに参加します。



三朝中学校1年
河本 紀邦

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	髙嶋貞明	石田恭二	山田博	藤井克孝	遠藤勝太郎	吉田道明	結果
(11月臨時会) 議員提出議案名														
議10	議会改革調査特別委員会の設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(12月定例会) 町長提出議案名														
80	令和5年度三朝町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
81~85	令和5年度三朝町特別会計補正予算について(5件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86	三朝町下水道事業の設置等に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
87	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
88	三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
89	三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
90	三朝町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
91	三朝町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
92	三朝町営墓地の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
93	三朝町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
94	三朝町水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
95	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
96	令和5年度三朝町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(12月定例会) 議員提出議案名														
議11	子どものために保育士配置基準の引き上げ、労働条件改善による保育士の増員と更なる賃金引き上げを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会	採択	保育士配置基準や賃金の引き上げ等は早急に整えるべき施策である。
三朝町がたまりの湯周辺を売却することに関する陳情	三朝区	趣旨採択	現在、議会は経過説明を受けている状況。引き続き説明を求めつつ、協議・検討を進める。

3月定例会は「3月7日(木)～22日(金)まで(16日間)」の予定です。※日程は変更になる場合があります。

発行責任者
議長 吉田 道明
編集 議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
委員 河村 明浩
委員 森 貴美子
委員 吉村 美穂子
委員 藤井 克孝

(河村 明浩 記)

日々の暮らしの中で、あったかい食べ物とお風呂が欠かせない年齢になりました。先日は、県外からの来訪者を、三朝温泉に案内し、ともに湯船に浸かり、わが町自慢のラドン浴を味わいつつ、心地よくリラックスしながらホルミシス効果について伝えました。温泉に入った夜の睡眠の質は向上するので、翌朝の目覚めもすっきり。家庭のお風呂とはまた違う極上のリフレッシュ効果をいただける温泉のある町に生まれたことは、宝くじに当たったようなものだ、つくづく感じています。改めて三朝温泉の良さを発信していくラヂムリエの使命を果たしていこうと思いました。

